

名古屋経済大学
市邨高校ニュース

スクールフェスティバル盛大に開催!

9月11(金)~12日(土)、「市邨未来予想図~文化祭に平和の願いをこめて~」をテーマにスクールフェスティバルを開催しました。高校1、2年生による調査研究や3年生の模擬店発表、中学校は技術家庭科や芸術科の作品展示と12講座もの文化講座を受講。また「音楽と演劇の会」や野外ステージでは、吹奏楽・演劇・ダンス・軽音楽など各部がそれぞれのパフォーマンスを披露しました。また、科学部や書道部など文化系クラブ部員も、この日とばかりに、日頃の成果を展示・発表。初日夕方からの「中夜祭」最後の恒例の「花火大会」は、天候に恵まれ、近隣の方々にも多数ご参加いただきました。PTA保護者によるバザー・模擬店も大盛況でした。

来年度の新入生から
制服が一新!

シャドウミニチェック柄の入ったシャープなイメージのチャコールグレースーツ。軽快な印象のWプリーツ仕様のスカートを採用。新制服には、2010年4月の新入生からチェンジ!



野外ステージにてダンスを披露

(ニュース提供 市邨高校)

平成22年度(2010年度)入試日程

※選考方法については、「2010年度入学試験要項」にてご確認ください。

大学 ■経済学部 ■経営学部 ■法学部 ■人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)
短期大学部 ■保育科 ■キャリアデザイン学科

試験区分	学部・学科	出願期間(消印有効)	面接日または試験日	合格発表日	学力試験の試験場について
AO	<Ⅴ期>	[エントリー期間]平成22年2月1日(月)~2月15日(月) [正式出願]平成22年2月24日(水)~3月1日(月)	2月20日(土) 3月4日(木)	2月22日(月) 3月7日(日)	(全日程) 大山キャンパス 名駅サテライトキャンパス
学力	<Ⅰ期> A日程	平成22年1月5日(火)~1月15日(金)	1月24日(日)・26日(火)	1月29日(金)	----- 地方会場 ----- 1月24日(日) 津市 浜松市 松本市 福井市
	B日程	平成22年1月5日(火)~2月1日(月)	2月8日(月)・9日(火)	2月13日(土)	
センター利用試験	<Ⅱ期>	平成22年2月8日(月)~2月26日(金)	3月4日(木)	3月7日(日)	
	<Ⅰ期>	平成22年1月5日(火)~2月3日(水)	本学独自の個別試験は実施いたしません。	2月13日(土)	
	<Ⅱ期>	平成22年2月8日(月)~2月26日(金)		3月7日(日)	
社会人	<Ⅲ期>	平成22年3月1日(月)~3月8日(月)		3月13日(土)	
	<Ⅱ期>	平成22年2月8日(月)~2月26日(金)	3月4日(木)	3月7日(日)	

大学院 ■法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程) ■会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程・博士後期課程)
■人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	試験場について
法学	企業法学	博士後期	Ⅱ期	平成22年1月8日(金)~1月19日(火)	2月13日(土)	2月17日(水)	(法学研究科・会計学研究科) 名駅サテライトキャンパス (人間生活科学研究科) 大山キャンパス
					2月14日(日)		
会計学	会計学	博士前期	Ⅱ期	平成22年1月19日(火)~1月27日(水)	2月20日(土)	2月23日(火)	
		博士後期			3月7日(日)		
人間生活科学	幼児保育学 栄養管理学	修士	Ⅱ期	平成22年2月16日(火)~2月25日(木)	2月20日(土)	2月23日(火)	
			Ⅲ期		3月7日(日)		3月9日(火)

学校法人教育研究充実寄附金のお願い

学校法人市邨学園 TEL 052-853-0047

学校法人市邨学園では、本法人設置校の教育研究の更なる充実発展を目指し、教育研究充実寄附金を随時募集致しております。ご寄附いただける場合には、左記までご連絡いただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、一定の条件を満たした場合には、寄附金に対する免税措置を受けることができます。

Meikei

[名経大通信]

Vol.31
2010年
1月15日

名古屋経済大学
www.nagoya-ku.ac.jp

新年のあいさつ
—— 宇長 末岡 照章 ——
建学精神の基本に立ち還り
新しい時代に向けて
魅力ある大学づくりを



• Special feature •
学生による自主運営
「カフェメレンゲ」 OPEN!

• Special feature •
学内で「正式に」発足
「寺子屋めいけい」本格始動!

Relay Essay
サンパチ銃と草刈り機 日比野 雅俊 教授

Make QR de アンケート
「名経大通信 Vol.31」について、ぜひご感想をお聞かせください。

http://www.smaster.jp/Sheet.aspx?SheetID=24216



新連載
研究室訪問

写真: 剣道部の練習風景

建学精神の基本に立ち還り 新しい時代に向けて 魅力ある大学づくりを



名古屋経済大学 学長
すえ おか ひろ あき
末岡 熙章

明けましておめでとうございます。

本学をご支援くださっている多くの皆様には、ご家族お揃いで穏やかで平和な2010年の新春を迎えられたことと存じます。日頃は本学に対し、物心両面に亘りご支援をいただいていますことを心より感謝申し上げます。

さて、昨年はアメリカ大統領の就任に始まり、その直後メキシコに端を発した新型インフルエンザに世界中が震撼し、経済は大恐慌以来最悪ともいわれる未曾有の金融危機に直面し大騒動になりました。また、わが国では新政権が誕生し、古い秩序を大胆に破壊し、どんな新しい秩序が生まれてくるのか国民が期待もいたしました。しかし、国民との契約であったマニフェストには無理も生じ、新年早々あらゆる点で混乱をきたしております。

同様に日本の高等教育におきましても、わが国が持続的発展を遂げる上で放置しておくことのできない深刻な問題が生じております。戦後わが国の発展の原動力となった人材の育成を担ってきた日本の大学は、今や、大変厳しい時代を迎えております。私立大学・短期大学においてその多くが入学定員を下回り、その一方で4年制大学が新設されるなど、大学間の競争はますます激化しています。近隣に募集を停止した大学・短期大学が存在することは記憶に新しいところです。

私立大学を取り巻く環境の変化は激しく、サバイバル競争の真只中にありますが、本学にありましても例外ではなく、多くの課題を抱えております。その背景には少子化に伴う大学全入時代の到来という構造的要因もありますが、今後さらに拍車をかけられた形で、競争と評価にさらされますことを考えますと、本学も一層個性化を図り、特色ある大学を目指していかなばなりません。

このような環境の中にありまして、名古屋経済大学は、しっかりと足もとを見据えながら、本学の使命である建学の精神の基本に立ち還り、教職員一人ひとりが高等教育機関に携わる一員としての自覚の下に、社会に役立つ人間性豊かな実践的人材の育成に力を注いでいかなばなりません。

新年にあたり、私は本学が「学生諸君にとって是非学びたいと憧れる魅力ある大学となること」「社会人・職業人として自己実現を図りたい人に選ばれる大学となること」「優れた教育研究ができる環境など、教職員が自らの力を活かすことができる大学となること」を考えたいと思っています。

名古屋経済大学には意欲と力があります。新しい時代に向けて魅力ある大学を構築することに喜びを感じる年とするために、教職員のチームワークによって共同作業を着実に進めてまいります。

名古屋経済大学・短期大学部は、学園創立百余年の歴史と伝統の上に、あらゆる叡智と工夫によって、この難局を乗り切り、安定的・効率的な経営基盤を確立していきたいと思っております。また同時に、伝統ある人物教育の特色を活かして、各学部・学科は建学の理念と合致した教育の実践を念頭に置き、大学をあげて輝かしい未来を目指してその存在を発信してまいりたいと思っております。

最後に、皆様の今年一年のご健勝を祈念するとともに、本年も名古屋経済大学に対して変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます、年頭にあたりましての挨拶といたします。

新年にあたって

大学出てから30年。大学の授業も、私の学生時代とすいぶん様変わりしています。その一つが、通年授業と半期授業。30年前は、通年授業が圧倒的に多かった。大学1年生のとき、演習で秦野武国先生に『更級日記』を教わりました。一年間、延々と講義ノートが読み上げられ、学生は先生の述べることを一字一句違えずにノートに書き取るという授業でした。一年たつと先生の書いた論文の全貌(たしか、「夢の文学」としての『更級日記』という趣旨でした)が明らかになるという仕掛けでした。当時は、国電(今のJR)初乗りが60円の時代、湿式コピーが一枚30円でしたから、友達のノートをコピーしようなどとは考えませんでした。思えば、アナログな授業でしたが、学問は通年でも足りないくらいに息の長いとなみ、コツコツするのが肝要だと叩き込まれました。

あるいは、大学4年生のとき、演習で岡野弘彦先生に『万葉集』を教わりました。先生のお話が楽しくて、うきうきしながら教室に通った一年間でした。大伴家持の歌を読み解きましたが、家持の「近代人」としての一面が説かれたりなどして、あっと驚くと共に、自分には勉強が足りないと痛切に感じました。この思いが、今の私を支えていると思います。

私が大学で教える立場になってからまもなく、半期授業が多くなりました。外国人留学生が大量に入学してくるのでその受け入れのため、というのが当初の理由だったと記憶しています。すいぶんと留学生に気を遣うのだなと感心すると同時に、学問は息の長いとなみなのにと、ふと疑いも覚えました。その後、半期授業への切り換えが大学教育に与えた影響は、どこかできちんと検証されたのでしょうか。お教え願いたいものです。

さらに、学問が息の長いとなみだと、半期授業の枠組みの中でしっかりと学生に伝えられているかと、我が身の拙さをも含めて、私はじぶんに問いかけてみたいのです。めでたさもちうくらいなりおらが春(一茶)

通年と半期

人間生活科学部 教育保育学科 准教授 高木 史人



新連載 Interview 研究室訪問

～ 経済学部 現代経済学科 伊藤 久司 准教授 ～



私は工業経営学科(現:経営システム工学科)といて、経営全般を科学的な視点で捉えようとする学科の出身です。この学科には、経営戦略、生産管理、情報理論、人間工学など幅広い専門科目が配置されていましたが、私は大学院生のとき、マーケティング・サイエンスを専門とされる先生のゼミに所属していました。そのため、時系列データやマーケティングデータを取り上げ、様々なモデルの精度や特性に関する研究や新たな検定法の提案などを行っていました。

本学に奉職してからは、周りの先生方のご指導やアドバイスもいただきながら、モデルによる現象把握だけでなく、日々行われている経済活動を消費者の視点から捉えるというアプローチも取っています。

現在は情報社会における消費者行動に関心を持っており、特にバーコードの次世代版と言われている「ICタグ」が消費者の行動にどのような影響を与えるのか、その普及にはどのような留意点が必要かなどについて研究しています。ICタグはその普及が進むと、これまでの生活パターンや価値観を一変させる可能性を持ったアイテムであると言われており、非常に興味深い研究対象です。

「寺子屋めいけい」で一緒に勉強しませんか？

昨年から犬山キャンパス1号館4階1D4教室に開設された、自主学習の場「寺子屋めいけい」。

この部屋には、小中学校レベルから教員採用・公務員・一般企業就職試験対策まで、幅広い学習教材が揃っています。

学生は、いつでも自由に自分に合った教材を使って勉強できます。

でも、自分一人でコツコツ勉強するのは簡単なことではありません。

寺子屋めいけいでは、学生が継続的に学習に取り組めるよう各学部の教員が講義の合間に在室して、学生たちの質問や相談に応えたり、同じ目標をもつ学生が集まって勉強会を開いたりしています。

継続は力なり…少しずつ、やってみよう

どんな目標をもつにせよ、成果を上げるためには継続的に学習を行うことが重要。「寺子屋めいけい」では、学習習慣を身につけながら数学的能力を養う教材「らくだメソッド™」を提供しています。この教材に取り組んでいる学生の声をご紹介します。

voice 01

簡単なものから難しいものへ段階を踏んで進んでいくので取っ付きやすく、時間も10分くらいでできるので継続できている。現在はこの学習に続けて資格試験対策など他の勉強にも毎日取り組めるようになってきた。

(経済学部2年)

voice 02

始めた頃はやらないことも多かったが、徐々に日課となってきた。その頃には、「出来ない」と考える前にできる時間を探そうようになっていた。今では、やらないと変な感じがする。空き時間を有効に使えるようになったと感じる。

(経済学部4年)

voice 03

最初は「毎日やるなんて無理」と、後からまとめてやるが多かった。しかしそれには時間を多くとらなきゃいけないと気づき、一日一枚やるように。これなら空いている少しの時間でできると気づき、毎日やるのが当たり前になっている。

(人間生活科学部1年)

voice 04

私はあまり計算が得意ではなく、何度も同じプリントをやっている。でも、繰り返しやるうちに、少しずつだけれど計算が速く、正確になっている気がする。やる時間を見つけるのは大変だけれど、続ける価値があるものだと感じた。

(人間生活科学部1年)

voice 05

復習なのに、毎日難しく感じていた。でも始めた当初と比べ確実に成長がわかる。だから、毎日やっている。

(人間生活科学部4年)

SUCCESS voice

利用者の合格体験談

寺子屋に行き始めたのは2年生からでした。週に1度集まる1つ上の先輩達の姿を見て、勉強するクセをつけるようにしました。本腰を入れたのは3年次の秋に学外実習が終わってから。翌年の3月からスパートをかけ、一次試験が4年次の秋まであったので、夏休みも毎日大学に来て勉強していました。

寺子屋に先生がいるだけで緊張感がありましたね。学内の支援講座でリズムがつかめ、年に1、2回開かれる勉強合宿での先生方のスペシャル講義でモチベーションが上がりました。関谷先生の福祉や原田先生の経済の講義は分かりやすく、飯田先生には数学、伊藤時彦先生には作文を見てもらいました。先輩からノウハウを伝授されたことも大きかったです。

これまでこんなに勉強したことが無かったのですが、いかに自分で勉強する時間を作るかが合格のポイントですね。

犬山市保育士内定・橋本海
(人間生活科学部4年)

■ 寺子屋めいけいのサポート体制



*らくだメソッド(小中の算数・数学)、学習クラブ(小中5教科)、日本語検定(日頃用いている日本語の敬語・文法・語彙・言葉の意味・漢字・表記の6領域にわたる総合的な能力検定)

こんな人、いませんか？

- ・公務員試験・就職試験に向けて勉強しようという人
- ・一人ではさみしいから、誰かと勉強したいという人
- ・勉強はしたいけど、何をやったらいいかわからない人
- ・数学(計算)が苦手だなという人
- ・大学の授業についていけないという人
- ・アルバイトばかりの生活に飽きた人
- ・このままでは卒業後が心配という人
- ・寺子屋ってどんなところ?とちょっと興味をもった人

寺子屋めいけいで先生たちが待っています



自主ゼミ後にカレパティー



6月夜間実施の試験対策スペシャル講義



4年生の公立保育所採用試験合格体験を聴く

Information

開室時間：月曜～金曜 9:30～18:00 (春休みも開室予定)
場 所：1D4教室(1号館4階)

【お問い合わせ】

E-mail : terakoya-staff@nagoya-ku.ac.jp

【教員の在室時間】

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/~basicedu/page1/schedule.html>



教員からひとこと

学生の自ら学ぶ力を信じてサポートしています。「あ、そうか!」と分かる喜び、「やった!」という達成感を共に感じたい、そんな気持ちで待っています。

学生が自ら立ち上げ運営 カフェメランゲ

前号でもお知らせしました学生の運営するカフェメランゲが10月19日にオープンし、すでに数ヶ月が経過しました。なかなか好評で経営は順調なようです。ここまでの経緯についてまとめてみました。

カフェメランゲは、もともと地域のまちづくりに関わっている経済学部
の学生が中心となって、大学のコミュニティプラザを学生・教職員、そして
地域の人でいっぱいになりたいという大きな構想のもとで生まれました。

空きになっていた厨房施設を大学から無償で提供し
てもらえることになり、ここにカフェを作ることになりました。カフェにしたのは代表の岡田翔伍さん(経済
学部現代経済学科4年)が有名なカフェのチェーン店
でアルバイトした経験があり、それを生か
せると思ったからだそうです。

どういった事業形態にするか、株式会社や有限会社など
様々な形態を検討した結果、有限責任事業組合でやろうと
いうことになりました。事業の立ち上げが一番たいへんだった
のは、煩雑な各種手続でした。ここでは本学法学部法学
科卒業後、リーガルスクウェア司法
書士事務所活躍中の福島崇弘さん
が力を貸してくれました。またもうひと
つたいへんだったのは寄付金集めで、
なかなか思うようにはいかず、かなり
苦労したようです。

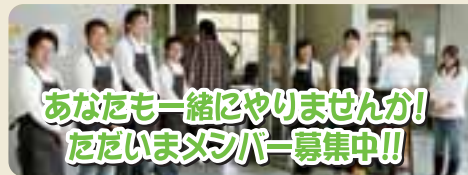
開店当初はご祝儀でたくさん来てくれたお客さんも、それが過ぎると一段
落、更にはたくさんのお客さんに来てもらうための改善が必要になりました。
それでメニューに加わったのがサンドウィッチ。毎日パンと食材を仕入れ、
開店前に手作りしています。また、地域のお店にも協力していただき、小牧市
大草にある新鮮体験農園「くりの木ランチ」さんからは牛乳・ハチミツ・シュー
クリームなど、犬山授産所の「来果(らいか)」さんからは自家製のパンを
直接仕入れていきます。木曜日には人間生活科学部管理栄養学科の学生さん
手作りのケーキが並び、あっという間に売り切れる人気ぶりです。

閉店後は後片づけとその日の売り上げのチェック、そして月曜日と水曜日
には更に夜遅くまでミーティング。さぞかしたいへんかと思いきや、とにかく
自分たちの力でやっているのが楽しくて面白く、辛いとかたいへんだと
思ったことはないそうです。

今の課題は地域の人にたくさん来てもらうためにはどうしたら良いのか
ということで、イベントの開催なども考えているということです。

お店の名前の「メランゲ」。この言葉には「混ぜ合わせる」という意味が
あるのだそうです。この名前には、ここを学生・教職員・地域の人びとが
混じり合う場所にしたいという彼らの強い願いがこめられているのです。

Café
~カフェメランゲ~
MElanGE
営業時間
11:30~14:00(月~金曜日)



あなたも一緒にやりませんか!
ただいまメンバー募集中!!

興味のある人は以下まで
TEL 090-4192-4090
Mail cafe.melange09@gmail.com
岡田 翔伍

携帯電話から簡単アクセス >>>



OPEN!

メランゲの1日

9:30



開店準備開始!
早速厨房へ

10:30



サンドイッチ
仕込み開始!

11:30



木曜日の目玉、手作りケーキは
前日に仕込みます

11:30



飛熊さんから
できてパンが届きます

11:30



準備完了
いざ開店!

14:00



毎日の伝票整理は
大切な仕事

17:00



週2回のミーティングで
経営戦略を練ります

MEIKI TOPICS
空手道部

第2回 和道会練成館空手道競技大会 女子組手の部 3位入賞

私は14歳の時に空手を始め、現在、和道流の茶帯です。きっかけは、護身の
ためにやってみてはと父から勧められ、道場に見学に行ったことでした。その形
の迫力と美しさに魅せられそのまま入門し、今年で8年目になります。

昇段したい、強くなりたいという思いで、1年生の後期から、名経大の空手道部
にも入り、そこである先輩に3年間指導していただきました。1、2年生のときは
資格の勉強もありましたが、道場と部活の両方に通っていました。

部活では、最初女子は私一人で、筋力トレーニングや練習は厳しいものが
ありましたが、積極的についていったので、スピードと体力を身につけることが
できました。組手が怖くてやめたいと思ったこともあった私ですが、先輩の
助言により試合では最後まで全力を尽くそうと思えるようになりました。

部活に入って良かったことは、心身ともに強くなることができたことと、部活を
守ろうとした先輩の意志を私が継ぐことができたことです。その「部活を守るんだ」
という信念で参加した今回の大会で、私自身が3位入賞を果たし、空手道部に貢献
することができました。協力してくださった卒業生や先生方、一緒に練習してきた
後輩に感謝しています。部活に入ったことで、空手の技術はもちろんですが、すば
らしい人間関係を築くことができ、人間として成長することもできました。学生の
皆さんにはクラブやサークルでの活動に積極的に参加されることをお勧めします。



法学部 法学科 4年 山口 道子

MEIKI TOPICS
沖縄県人会
エイサー部

沖縄ミュージアム in リトルワールド

11月21日(土)に、野外民族博物館リトルワールドで、『沖縄ミュージアム
in リトルワールド』を行いました。今回の公演は、名経大の沖縄県人会「ちん
すこう」とエイサー部(朱獅子エイサー)が中心となって企画しました。東海
地区だけでなく本場沖縄からも駆けつけてもらいエイサー団体や三線
奏者をはじめ、エイサー演奏はもちろん、手踊り、獅子舞、棒術、舞踊など、
さまざまな琉球芸能を披露しました。

当日の天候は今にも雨が降りそうな感じで公演に支障が出そうでしたが、
オープニングと同時に空は晴れわたり、踊り手にとってちょうど良い
気温になりました。見ているお客さんは、少し寒かったかもしれませんが、
暖かい南国の沖縄を存分に味わっていただけたと思います。

最後は外部団体の方々やお客さんも一緒になってカチャーシを踊り、
会場が一体となって大いに盛り上がりました。

エイサーや琉球芸能
に興味がある方は、ぜひ
エイサー部までお問い
合わせください。



写真上/観客と触れあう学生
写真下/真剣な表情で踊る学生たち

経営学部 経営学科 2年 鈴木 祥平

Meikei
SCOOP

速報 またも1年生 宅建合格!

法学部特別研究室で勉強している小田正信さんが宅地建物取引主任者に合格しました。
小田さんのことばです。

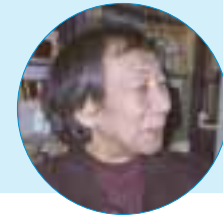
研究室の先輩がいなかったら途中で勉強をやめていたかも知れません。昨年宅建を取得
した研究室の先輩から、試験前の過ごし方、勉強方法などについて、適切なアドバイスを
いただいたことが結果につながったと思います。10月には法学検定試験、12月にはビジネス
実務法務検定、1月にはFP(ファイナンシャル・プランナー)に挑戦し、最終的には公認会計士
の資格を取得したいと考えています。



法学部 法学科 1年 小田 正信

サンパチ銃と草刈り機

経営学部 経営学科 教授 日比野雅俊



土日には車で10分程度のところにある山の手入れに出かけることが多い。とくに5月から10月初旬までの半年間は、取りつきまでの山道や竹・樹木を伐採したあとの斜面は下草が勢よく成長する。2週間も放っておくと、場所によっては膝丈の高さにまで伸びる。そのため毎週のように、例のエンジン付きの草刈り機を使うことになる。この草刈り機の重さは5kg程度で、肩にかければそれほど重さには感じないが、片手で持てばずっしりとした手ごたえがある。その日の作業地点まで草刈り機を片手に緩い斜面を上っていくとき、いつも思いを馳せるのが先の大戦中に歩兵が携えた銃器とその重さについてである。

鈴木元副学長とは帰路が同じ方向にあることから、ときどき喫茶店へのお誘いを受け、1時間ほどの閑談を楽しませていただくことがあるが、大抵は取り止めのない話である。先日は先生が旧制中学の時代に受けられた軍事教練の話をお伺いした。発端は私が当時の「サンパチ銃(明治38年に仮採用され、太平洋戦争開戦時には日本陸軍の全兵士が携行した三八式歩兵銃)」のことが気になっていたからである。この銃は1.3mくらいの長さがあって、重さは約3.7kgある。着剣するとそれぞれ1.6m、4.1kgとなる。つまり草刈り機より少し

軽い程度の重さである。先生の話では、軍事教練のとき、三八銃を手にするのは最高学年だけで、低学年は古い村田式銃が与えられたとのこと、とりわけ匍匐訓練はたいへんだったと述べられた(村田銃というのは明治に日本軍が採用した古い銃で、最初の国産小銃とされている。銃身長異なるものがあるため多少重さに違いがあるが、大体4kg前後である)。行軍訓練となると、8kgばかりの砂の入った背嚢を背に、腰には弾薬の代わりとして500gほどの砂入りの袋を二つ腰の両サイドにゆわえ、銃を肩に名古屋城の練兵場から守山まで歩かされたと話された。携行物の全重量約13kg。このあとは想像である。中国大陸では「どこまで続くぬかるみぞ」の行軍。広大なノモンハンでは銃を持っての突撃。南では湿気や雨の下での行軍。寒暑の中での野外食ともなれば、頑健な身体を持ち合わせない私など、落伍するか戦病死するかに決まっている。そうかといって、菊のご紋章入りの三八銃を投げ出すわけにもいかない。勝敗を左右する兵器の物量とは別に、まずは己の肉体的・精神的な耐久性を考えざるをえない。歩兵はとにかく歩かねばならない。それを想像すると、つくづくあの時代に生きていなくて良かったと思いつつ、草刈り機のエンジンを始動させるのである。

今回は、経済学部現代経済学科の下川郁子先生です

メイケイのお弁当日和 02

旬の食材で冬の松花堂弁当

季節の味をいただきます

鍋やおでんなど、温かい食べ物が美味しい季節になりました。今回は松花堂弁当を使い、ちょっと豪華に見える冬のお弁当を紹介します。

献立は、ご飯、海老のすり身の信田巻き、花形れんこん、ぶりの照り焼き、卵焼き、筑前煮、漬物、抹茶の和風ケーキです。信田巻きとは、油揚げで野菜などを巻いたもので、今回はピンク色がきれいな海老のすり身と、冬の食材である春菊を使いました。花形に飾り切りしたれんこんには、甘酢で味付けした卵の黄身を詰めました。見た目がとても可愛く、楽しい気分させてくれます。冬の旬の魚であるぶりは、定番の照り焼きに。ぶりは成長段階によって名前が変わることから「出世魚」と呼ばれ、縁起のいい魚であると言われています。卵焼きにはカニカマとネギを入れ、色鮮やかに仕上げました。筑前煮は鶏肉や根菜など、たくさんの食材を使うことで食感を楽しむことができます。

高級な食材を使わなくても、彩りや盛り付けを工夫することで豪華なお弁当が演出できます。いつもとはちょっと違ったお弁当で、日本の冬の味を味わいませんか。



新春を感じるそんなお弁当です!

ワンポイント!
筑前煮はごま油を効かせてコクを出せば、冷めても美味しくいただけます。

人間生活科学部 管理栄養学科 4年 綿貫 虹子



犬山 Meikei Festival

テーマは「音」
今年もたくさんの「音」が集まって、すばらしい「曲」を奏でました

人気お笑いコンビ スピードワゴンの登場でステージは最高潮に

前号に登場 Peashooterがステージで演奏!

第7回名経祭
10/24(土)・25(日)

第1回キャリア祭
10/25(日)

今年は名駅サテライトキャンパスでもキャリア祭が同時開催! 二日とも最高の大学祭日和! たくさんのお客さんにご来場いただき、大盛況でした。

河村たかし名古屋市長と 芸能レポーター梨元勝が 激突対談! 会場は爆笑の渦に

先生と学生が 一体となって実現、感動のフィナーレに!

地元名古屋で活躍中の バンドが集結! 白熱のステージに

名駅 Career Festival

2009 Career Festival



渡部さんは全国をまわって活動されています

山形の昔語りを聴く

12月3日、本学図書館1階エントランスホールにて、本学人文科学研究会主催、幼児教育研究会共催、犬山市・犬山市教育委員会後援で「山形の昔語りを聴く」催しが開かれました。語り手は、山形県新庄市在住の渡部豊子さん。渡部さんは、旧最上郡萩野村の農家に生まれ、祖父母や両親から多くの「むがす」を聴いて育ち、そして蓄えた数多くの「むがす」の「語り手」です。

人文科学研究会会長の安藤悦夫教授(人間生活科学部)が冒頭で、「音楽における即興(アドリブ)が一度きりのもののように、昔語りもそのとき一度限りのもの。是非ライブを楽しんでいただきたい」と挨拶し、渡部さんが席に上がると、聴衆は山形弁で語られる山形の暮らしから昔語りの世界へと引き込まれていきました。「かさこ地蔵」といった年末にお馴染みのものから、半人半鬼の「かだつの子」(我が身を犠牲にして人間の母と祖父を、鬼の父から救うというもの)まで、聴き慣れない山形弁で次々と異なる「むがす」が語られる中、聴衆も情景を思い浮かべ、時には笑い声も上がりました。

会場の図書館エントランスホールは明るい吹き抜けになっており、渡部さんの訥々(とつとつ)とした語りが響き、2、3階からも耳を傾ける学生の姿がありました。また、二部構成で休憩・入れ替えがありましたが、学外から来校された97名の一般の方々の中には、一部に続いて二部の「むがす」に耳を傾けられる方も多く見られました。語りの後には、一般の方との質疑応答もあり、山形の昔語りの奥深さに触れられた午後でした。

(人間生活科学部教育保育学科准教授・伊藤博美)



昔語りに聞き入る聴衆

新しい活動で 図書館 賑わっています

図書館では「学生と共に創る活動的な図書館」を目標に様々な取り組みを計画しています。平成21年度は「学生参加型」の企画を2つ立てました。



栄の丸善にて、選書中の学生たち

選書後、充実感に満ちた学生達の笑顔

*第2回目は12月18日に実施

選書体験ツアー「学生選書の会」

1つ目は、選書体験ツアー「学生選書の会」です。これは学生たちが大型書店において自身の目線で、見て、触れて、本を選ぶ楽しさを体験するというものです。学生が多くの学術書と接する機会を得ることから知的好奇心が喚起され、参加学生からは好評を得ています。選書された本は、図書館3階、名駅サテライトキャンパス3階図書室にそれぞれ展示して、通常通り貸出ししています。

平成21年度図書館ホールでの主な催事(展示は除く)

- ミニコンサート：名経祭にて教員によるバンド(B&Eplus)演奏会
- 公演会：語り手渡部豊子さんによる「山形の昔語り」(左頁参照)

クラシックとヒーリング系の名曲を披露

図書館でピアノ演奏会!?

2つ目は、ピアノ演奏会「らいぶらりー・おんがくのしらべ」です。音楽棟から図書館1階エントランスホールにグランドピアノが移設されました。このホールは作品展などで地域住民の方にも開放して、ギャラリーとしても有効活用されています。演奏者を募集したところ、法学部の男子学生2名が初公演を飾ってくれました。図書館での音楽演奏はタブーと言われそうですが、5階まで響き渡る心地よい音色は癒し効果抜群でした。しばらくは、月末の館内整理日(閉館日)に限定して、気軽に聴いていただける演奏会を続けていきたいと思っています。

“活動的なおもしろい図書館”を学生のみなさんとコラボレートして、もっと身近に感じてもらえる図書館を目指していきたいと思っています。

(図書館部長・加藤裕子)



Meikei NEWS

「消費者教育学生セミナー」で最優秀賞受賞

経済学部 現代経済学科 3年 松澤 祥平

日本消費者教育学会が主催している「消費者教育学生セミナー」は、大学生、大学院生を対象に消費者教育・消費者啓発の促進と次代の消費者教育・消費者啓発を担う専門家の育成を目的としています。内容は、大学の先生と企業の方から消費者教育に関するお話を聞いた後、グループに分かれてワークショップを行い、その成果をお互いに発表しあうというものでした。

今回のワークショップのテーマは「消費者教育の教材」でした。私のグループでは、消費者問題の防止や今の時代に合った商品選択の必要性を考えるためには早い段階での消費者教育が必要だと考え、小学生中学年を対象としたやりくりと商品選択のための劇形式の教材を作りました。内容は少年がカレーの材料を買いに行き、自分の好きなように商品を選択して買い物したら予算をオーバーしてしまい、その後家族の人に商品選択で気をつけることを聞きながら無事に買い物を終えるというものでした。また、劇の

最中に標語のようなものを見せてポイントを覚えられるように工夫もしました。その結果、最優秀賞をいただきました。

今回のセミナーには全国各地の大学から67名の学生が集まっており、さまざまなバックグラウンドを持った人々とのディスカッションは楽しかったし、自分自身とても成長することができたと思います。今回は本学学術研究センターの支援を受けて参加することができましたが、今まで他大学の人と関わる機会はなかったので大変良い経験になりました。



名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部 同窓会合同懇親会開催

11月29日(日)にローズコートホテル(名古屋市中区)にて、「名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部同窓会合同懇親会」が開催されました。大学・短期大学部合同での開催は今回が初めてとなります。たくさんのお同窓生の方々にご参加いただき、現職の教職員だけでなく、退職された先生方も交えて楽しい再会の時を過ごしました。



大学同窓会会長・山田拓郎氏



本学法学部卒業生でBMWのディーラー河田哲也さん、朝日新聞12月14日夕刊に登場! [詳しいことは次号で!](#)